

<参考資料>

福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋 トーラス室内調査結果について

(R/B1階床配管貫通部からの調査
：平成24年6月26日実施)

平成24年6月27日

東京電力株式会社

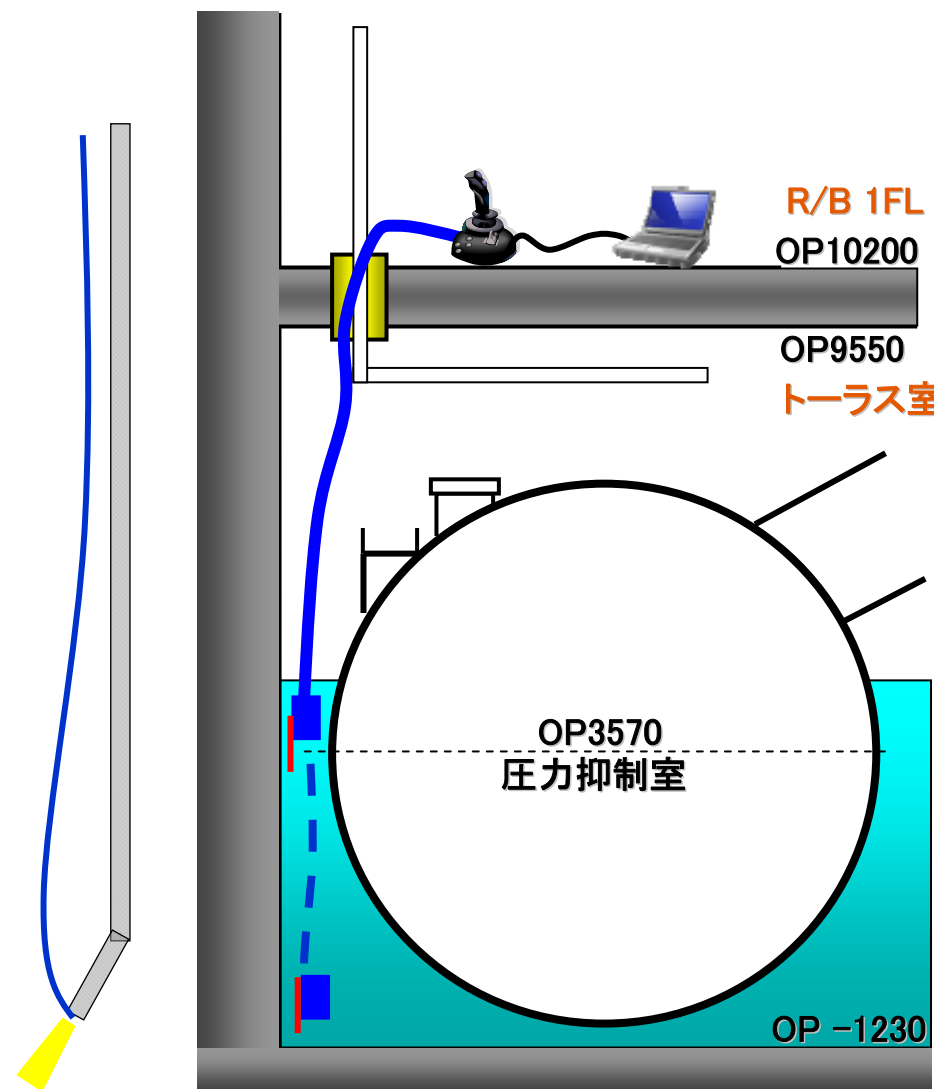


東京電力

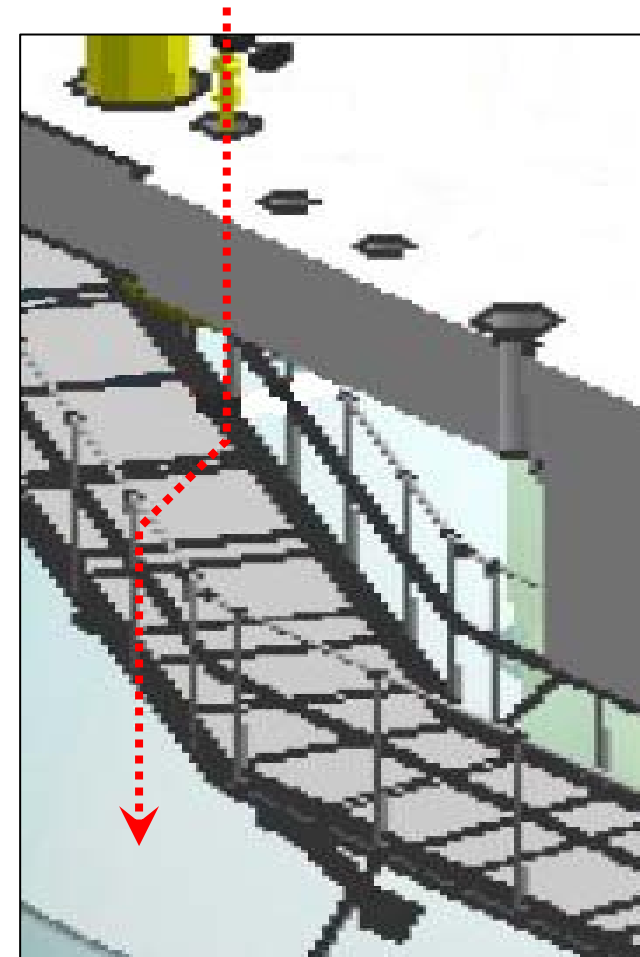
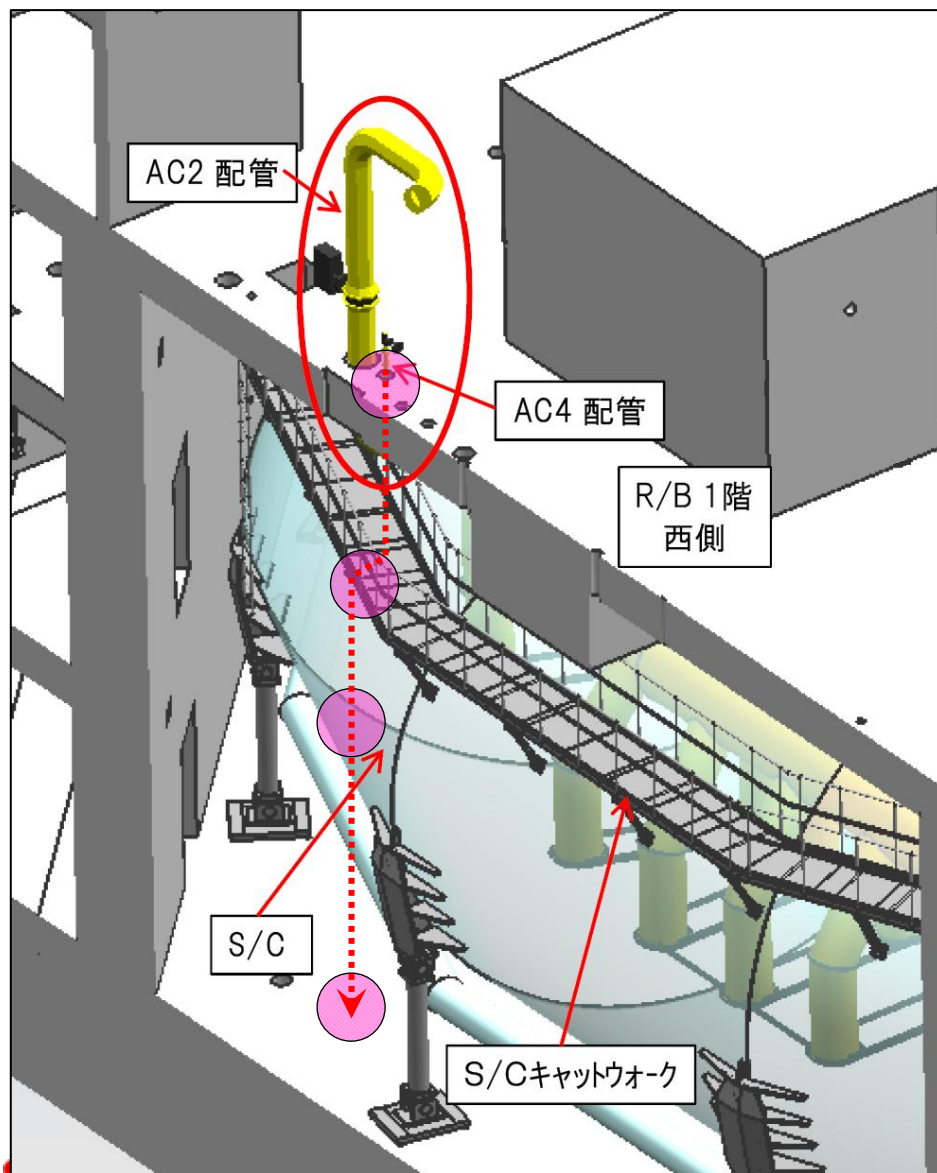
1. 調査方法

配管貫通口よりCCDカメラ、
温度計、線量計を挿入

※配管と床貫通スリーブの間隙 約50mm



2. CCDカメラの挿入ルート



キャットウォークの手すりと干渉するため、
外側へオフセットしてアクセスする必要がある。

3. 作業結果まとめ

○滞留水水位

OP.4,000程度であることを確認。

○滞留水水温

トーラス室温は約28.8℃，滞留水温度は約32～37℃であった。

○滞留水線量

トーラス室内の線量は19.5～10,300mSv/hであった。しかしながら、測定中に 10^8 ～ 10^9 mSv/hオーダーの値を示し、その後線量計を引き上げるまでこのオーダーの指示値を示していたため、線量計が故障したと考えられる。

○滞留水透明度，トーラス室底部堆積物

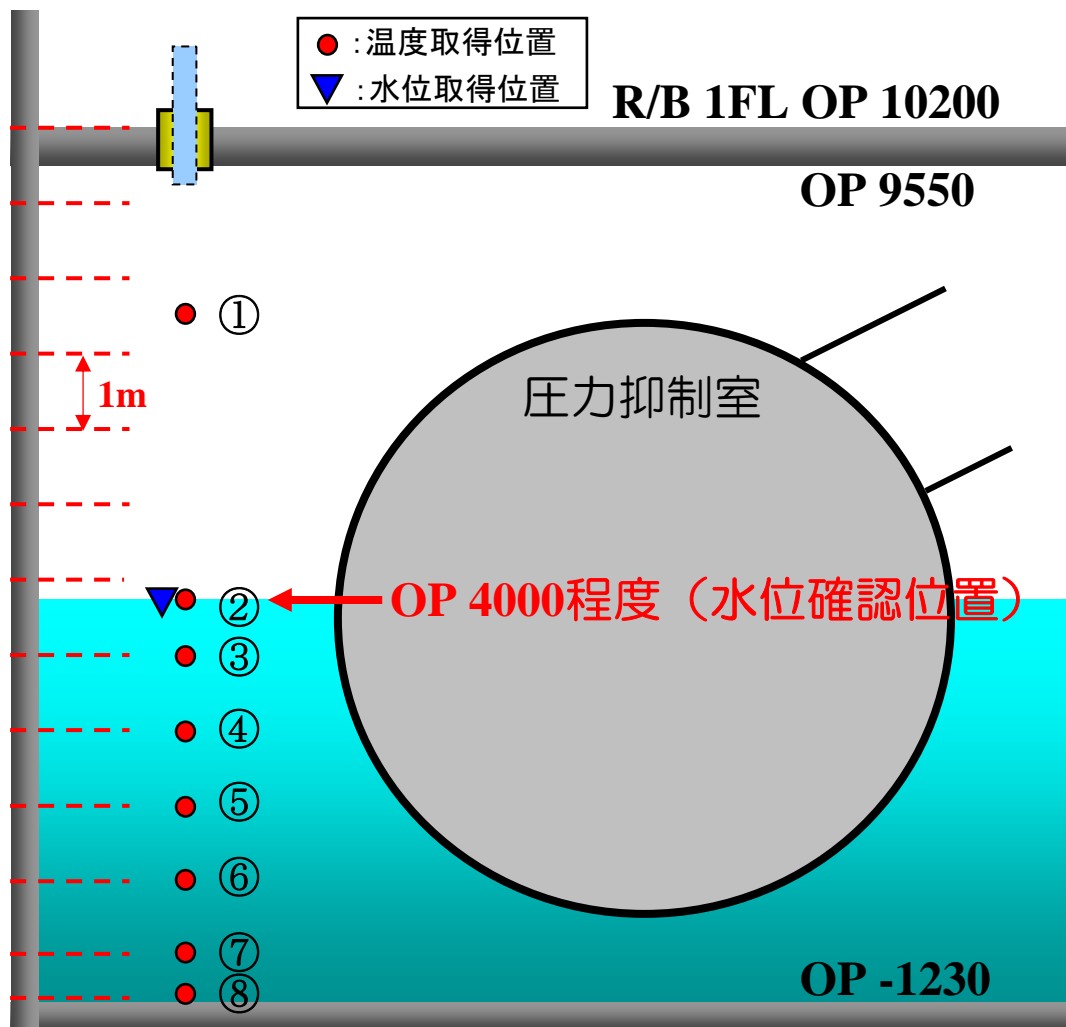
少なくとも60cmの透明度があることを確認出来た。

また，調査装置が壁面や底部に干渉した際に，浮遊する程度の堆積物が確認できた。

○滞留水成分

滞留水の採水は実施せず。

(参考) 水位・水温の測定結果



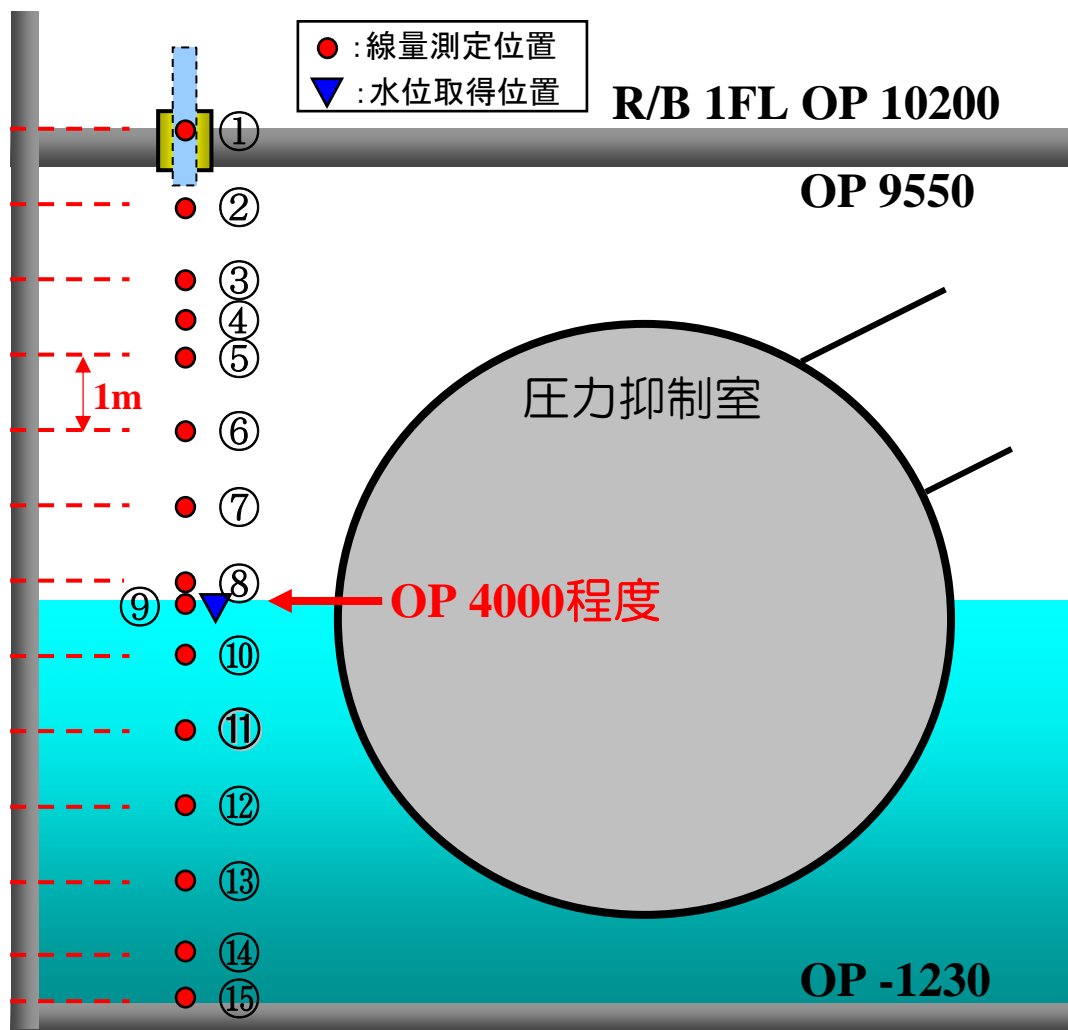
①	OP.7700	28.8℃
②	OP.4000	37.2℃
③	OP.3200	34.0℃
④	OP.2200	34.0℃
⑤	OP.1200	34.8℃
⑥	OP. 200	34.1℃
⑦	OP. -800	32.4℃
⑧	OP.-1230	32.0℃

※R/B雰囲気温度:約22℃

※中地下三角コーナ水位:OP.4617

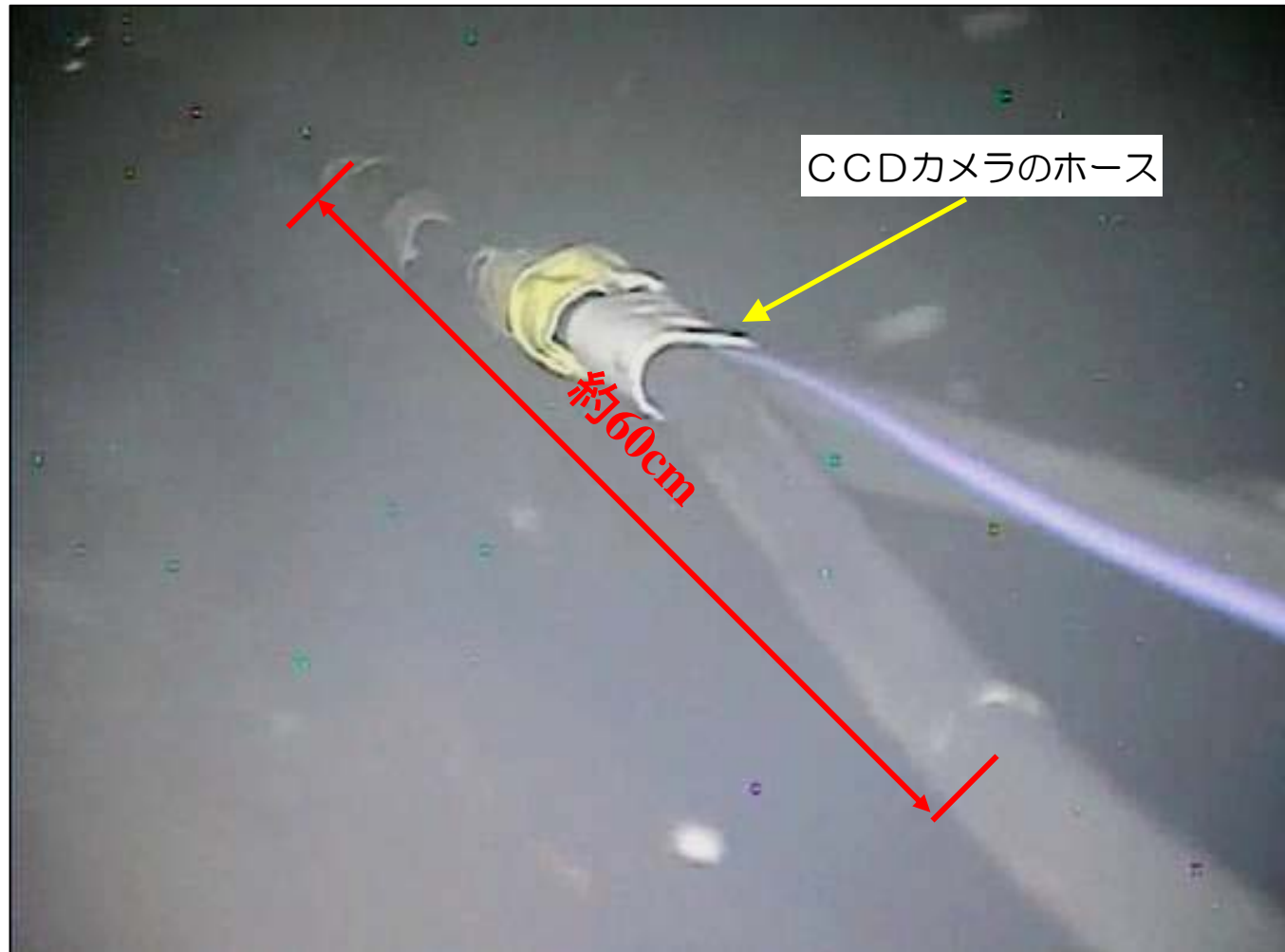
(参考) 線量の測定結果

◎線量計は調査中に故障した模様



①	OP.10200	19.5mSv/h
②	OP.9200	625mSv/h
③	OP.8200	1290mSv/h
④	OP.7700	1440mSv/h
⑤	OP.7200	1410mSv/h
⑥	OP.6200	2030mSv/h
⑦	OP.5200	4520mSv/h
⑧	OP.4200	10300mSv/h
⑨	OP.4000	8190mSv/h
⑩	OP.3200	3550mSv/h
⑪	OP.2200	2770mSv/h
⑫	OP.1200	10 ⁸ ~10 ⁹ オーダ を記録
⑬	OP. 200	
⑭	OP. -800	
⑮	OP. -1230	

(参考) 透明度について



(参考) 堆積物について

